

令和5年度事業計画

介護の仕事を魅力的に！
KUROSHIOEN vision 2025

KAIGO system innovation

Smart 業務の効率化

Stylish ICTの活用

Specialist 個別ケアと自立支援

質の高いサービス

Superior **KAIGO**

社会福祉法人黒潮園

目 次

・はじめに	1
・基本理念	2
・職員の志	3
・法人運営方針	4
I. 社会福祉法人黒潮園の基本方針	5
II. KUROSHIOEN vision 2025	7
III. 令和5年度法人重点実施項目	8
IV. 組織図・職員配置	10
V. 会議・委員会	11
VI. 研修計画	15
VII. 黒潮園・クレール高森行事計画	16
VIII. 黒潮園・クレール高森事業計画	17
黒潮園介護部	17
クレール介護部	20
相談援助部	22
看護部	24
調理部	26
IX. デイサービスセンター悠久事業計画	27
X. 在宅介護支援センター悠久事業計画	31

はじめに

『 to the NEXT future 未来へ 』

当法人は『質の高いサービス（Superior KAIGO）の提供』を基本理念として取り組みを積み重ねてきました。その先に目指す未来像として、Smart・Stylish・Specialistの3つの“S”をキーワードに、『介護の仕事を魅力的に！』というビジョンを掲げ中期計画『kuroshioen vision 2025』を策定しています。

我が国の少子高齢化の進行による生産労働人口の減少は、必要な人材が確保できない、また消費需要の低下により事業継続が難しくなるなど、産業構造に様々な変化を及ぼす事が危惧されています。新宮市にいても人口減少は著しく、特に生産労働人口の減少は顕著であり、製造業はこの17年間に66事業所あった事業所が25事業所にまで減少しています。一方で高齢者人口の将来推計は微減であり、介護事業はこの先、10年、20年とニーズが持続し、明らかに地域産業のなかでも将来性と可能性が高いものと言えます。当法人はこれまで「働きやすい職場」なくして、「質の高いサービスの提供」は成し得ないという方針のもと現場改革を進めて参りました。一方で、介護の仕事が地域雇用の選択肢として十分な価値を発揮しているとは言えず、介護の仕事が永続的に発展していく為には、次世代を担う若者をはじめ幅広い世代の人材が集う場となれるかが最大のポイントと言えます。この人口減少に伴う将来展望において現状の維持は間違いなく衰退につながります。この中期ビジョンは残る課題を解決すると共に、未来に向けた介護の仕事のイメージの向上と、新たな価値の創出を目指すものです。

そこで今年度も引き続き先進機器の導入による「Smart」効率的な業務体制の構築を進めています。夜間の見守り機器として睡眠中か覚醒しているかタブレットで随時確認ができるベッドセンサー『眠りスキャン』をクレール高森に続き、黒潮園の全室に導入し、夜勤業務の負担軽減に取り組んでいきます。また、その日の人員配置数に応じた、各勤務者のタイムテーブルを示すオペレーションシートを作成し、関連する業務マニュアルを整備する新たなプロジェクトを立ち上げます。業務標準を定めるとともに「ムリ・ムダ・ムラ」の解消に向けた業務効率化に取り組み、個別ケアの自立支援介護の確実な実施と、外出支援やレクなど暮らしの充実に向けた時間の確保など、多岐に渡る取り組みがより円滑に実施できる体制づくりを進めていきます。

また、事業所の枠を越えて若い世代が意見を交わし、主体性をもってこの中期ビジョン構想に参画する「NEXT 世代会議」を立ち上げ、ホームページの充実やSNSを活用した広報戦略など、若者の「Stylish」な感性を活かし、次世代の人材確保に取り組むプロジェクトを進めていきます。

一方で、令和5年度予算では前年度同様、高稼働率による最大規模の収入予算を編成しています。光熱水費の高騰、物価高による経費増が見込まれますが、このハイレベルな収益性にに基づき、充実した職員配置と高い処遇の両立を維持し、引き続き幅広く職員処遇への還元を実現します。また中期計画にある職員アパートの建設、各部署からの購入要望の他、黒潮園の外壁塗装、老朽化した浄化槽の新設工事など大きな支出を伴う修繕工事を計上しています。

今年度も当法人の強みである「高い経営力」により実現する「働きやすい職場」と「質の高いサービスの提供」を基盤に、未来指向かつ明確なビジョンをしっかりと持ち、介護業界という枠を越えた一つの事業として、高い将来性を示す地域のリーディングカンパニーとなれるよう、引き続き介護の仕事の魅力創出を目指し全力で取り組んで参ります。

理事長 岡 司

基 本 理 念

温かい家庭的な雰囲気のもと、利用者さま一人一人の尊厳の保持と、その個性や価値観を尊重し、夫々のニーズと状況を十分に把握して、質の高い福祉サービスを提供するよう努める。

次の言葉をモットーとする

- 一. 「心と心の通い合い」を大切に…
- 一. 「その人らしさ」に最大限の配慮を…

職員の志

私たちは社会福祉法人黒潮園の職員としての「志」を大切にし、
法人基本理念を実行いたします。

1. 私たちは介護現場に携わる専門職として、プロ意識をもって支援します。

- ・社会福祉従事者としての自覚と誇りを持ち、自己研鑽に励みます。
- ・プロとしての接遇、あいさつ、言葉遣い、表情、身だしなみ、立ち居振る舞いを大切にします。
- ・アセスメントと根拠を大切にした行動に徹します。
- ・全職員は専門職として、チームケアに取り組みます。

2. 私たちは今までこの社会を支えてこられた利用者様の尊厳を大切にします。

- ・礼儀をもって接するとともに、傾聴することを大切にします。
- ・その人らしく暮らすことができる、居心地のいい生活の場を提供します。
- ・その人らしい暮らしに寄り添う支援を大切にします。
- ・ゆとりをもった支援を心がけます。

3. 私たちは介護サービスの質の向上を図ります。

- ・理念に基づく理想の介護を追求します。
- ・既存の考え方に固執せず、新しいことに積極的に取り組みます。
- ・研修会参加や専門的な資格取得に励み、介護サービスの質の向上に努めます。
- ・内部勉強会、委員会を積極的に取り組みます。

4. 私たちは明るく豊かな人間関係とチームワークを大切にします。

- ・いつも笑顔で心がけ、和やかな雰囲気をつくります。
- ・私たちの笑顔で、利用者様の笑顔を引き出すことを大切にします。
- ・相互協力により信頼し合える仲間（チーム）をつくります。
- ・定期的な話し合いの場を設け、情報の発信と共有を大切にします。

法人運営方針

1. 法令順守

社会福祉事業の主たる担い手として、適正かつ透明性のある事業経営を行い、永続的な地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 地域貢献

社会福祉法人として公共の福祉に貢献できるよう、常に地域の皆様の声を大切にし、そのニーズにお応えできるよう努めるものとする。

3. 人権擁護

利用者様の生活と人権を擁護するため常に誠意を持ち、個々の意思および人格を尊重した個別処遇と自立支援に取り組み、その人らしい暮らしに寄り添う支援に努めるものとする。

4. 総合的な福祉サービスの提供

高齢者の方々が、穏やかに安心して生活できる地域の拠点施設を目指し、多岐にわたる福祉サービスの提供および情報の提供に努めるものとする。

5. 新たな福祉サービスの確立

変化する福祉ニーズにお応えする、先駆的・独創的で特化した福祉サービスの確立に努めるものとする。

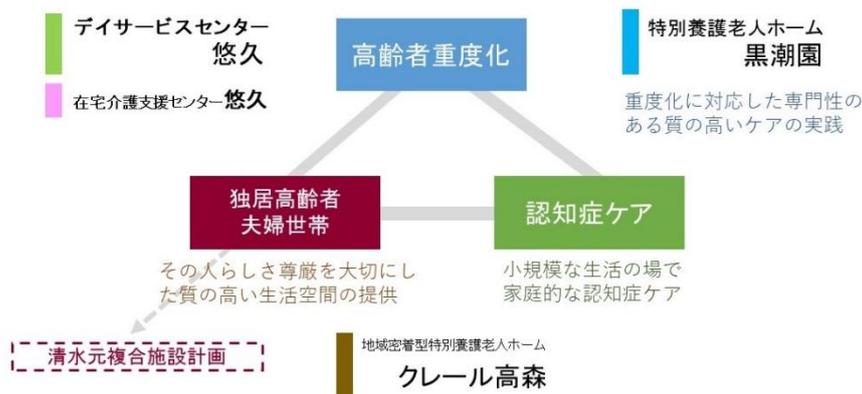
6. 職場環境の整備

職員の資質向上に努めるため、研修や専門的な資格取得を奨励するとともに、常に現場の声に耳を傾け、やりがいをもって働ける職場環境の整備に努めるものとする。

1. 社会福祉法人黒潮園の基本方針

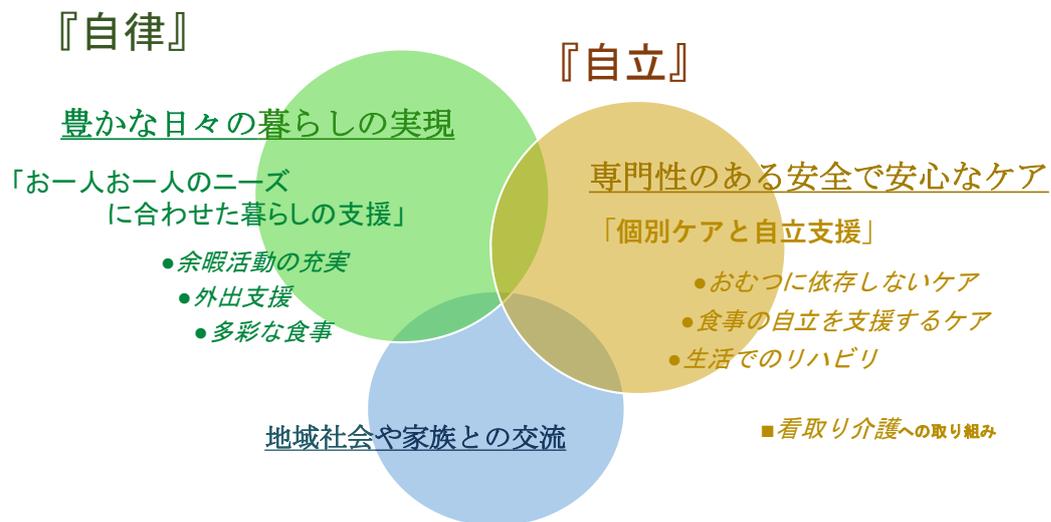
1. 地域を支える福祉システムの構築

今後の高齢者福祉における課題、①高齢者の重度化 ②夫婦世帯・独居高齢者の増加 ③認知症高齢者の増加、それぞれの3つのニーズに適応する施設サービス拠点を整備し、地域の様々なニーズを有する高齢者を包括的・相互的に支援するシステムを構築する。



- ・従来型特養黒潮園は、重度要介護者に対応する施設と位置付け専門性に特化したケアに取り組み、地域密着型特養クレール高森は、今後増加が見込まれる認知症高齢者や独居高齢者といった中等度の要介護者が、その人らしさと尊厳のある暮らしを継続できるように個室ユニットケアに取り組み相互連携を図る。
- ・デイサービスセンター悠久、在宅介護支援センター悠久では、住み慣れた地域で安心して暮らしが継続できるように在宅支援に取り組む。
- ・所有する土地（清水元）の有効活用について、介護保険制度の動向、地域ニーズに基づき、新たなサービスの創出を検討する。

2. 理念にある質の高いサービスの提供



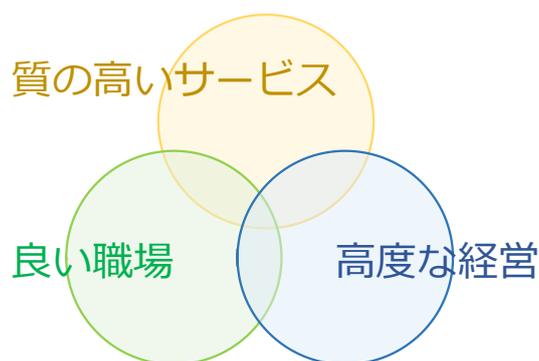
施設に入居しても豊かな日々の暮らしを実現する「自律」と、専門性に特化した個別ケアと自立支援介護を実践する「自立」、この2つのカテゴリーをより高い次元で実現するケアに取り組みます。



3. 働きやすい職場の実現

私たちは、「より良い職場」があって初めて「より良い人材」が集まり、そして「より良質なケア」につながるものと考え、『心と心の通いあいを大切に・・・』という基本理念モットーに基づき、お一人お一人のご利用者さま、一人一人の職員、『人』を大切にする法人を目指します。

- ・施設稼働率99%以上ほか「高度な経営」により実現する「良い職場」と「質の高いサービス」
- ・収益性向上による職員処遇向上への取り組み
- ・多職種同一処遇による『全員正職員雇用制度』
- ・有給休暇取得推進と・連休取得への取り組み
- ・内部研修の充実ほか外部研修の出張支援制度によるキャリアアップ支援
- ・住宅ローン補助手当ほかライフステージに応じた福利厚生の実施



II. KUROSHIOEN vision 2025

『介護の仕事を魅力的に！』

介護の仕事のイメージを変える価値の創出

築き上げてきた『質の高いサービス』（Superior KAIGO）の未来への持続と発展に向け、ケアシステムへの最新のテクノロジーの活用と業務効率化（Smart・Stylish）により、誰もが働きやすく、専門職（Specialist）として成長できる環境へイノベーションを図ります。また次世代の人材確保に向けたイメージ向上と魅力創出を目指します。

介護の仕事を魅力的に！
KUROSHIOEN vision 2025

Smart 業務の効率化
Stylish ICTの活用
Specialist 個別ケアと自立支援

質の高いサービス

Superior KAIGO



赤字は 2023 年度重点実施項目



職員アパート建設

令和6年3月完成予定



Ⅲ. 令和5年度法人重点実施項目

1. アクションプラン2023

『KUROSHIOEN vision 2025』に掲げる「介護の仕事の魅力創出」に向けたテーマに対し、以下を2023年度実施項目とする。

テーマ1. 業務の生産性や効率性が高い

仕事がスムーズ・未来指向

- ・ ベッドセンサーによる見守り機器『眠りスキャン』の黒潮園全室への導入
- ・ 移乗介助ロボット『Hug』による、腰痛予防と労務負担の軽減
- ・ 勤務シフトごとに時間軸における業務内容を可視化したオペレーションシートの作成と「ムリ・ムダ・ムラ」の改善による業務効率化（(株)日本経営のコンサルティング）
- ・ 業務内容の標準化とマニュアルの作成
- ・ オリジナルアプリを活用した情報共有（黒潮園ショート利用者情報アプリ『Kui』の追加）



テーマ2. ご利用者からの高い信頼とキャリアアップ

自己実現・達成感

- ・ 施設内WEB研修の充実と自主的な受講に対するポイント制度の導入
- ・ 施設外研修出張支援の再開（新型コロナウイルス感染症5類移行により）

テーマ3. 安心の将来設計と魅力ある職場

働きやすい職場・楽しみ

- ・ NEXT世代会議による提案と企画
- ・ 職員アパートの建設（令和6年3月完成予定）
- ・ 休暇取得希望アンケートによる個々のライフスタイルに合わせた勤務表作成への取り組み
- ・ 有給休暇取得率80%の達成
- ・ ゆとりある人員配置と高校新卒者の受け入れ（定数より2名増員）

2. 高い収益性を基盤とした職員処遇向上への取り組みと経営基盤強化

- ・ 物価高騰等の社会情勢の変化に対する基本給の見直しによる賃上げの検討
- ・ より精度の高い年度法人予算の立案と確実な執行に取り組み、本部会議による月次経営分析と検討、運営会議にて業績の報告を行い、適正な利益の確保と職員処遇向上の両立を実現する
- ・ 業績達成による3月賞与（業績一時金）支給への取り組み
- ・ 目標稼働率による収入管理（予算）

	目標稼働率	平均介護度
黒潮園 入所	97.5%	4.2
ショート	125.0%	3.3
合算	100.0%	
クレール高森 入所	98.7%	4.0
ショート	100.0%	2.7
合算	99.0%	
デイサービス悠久	86.0%	2.5

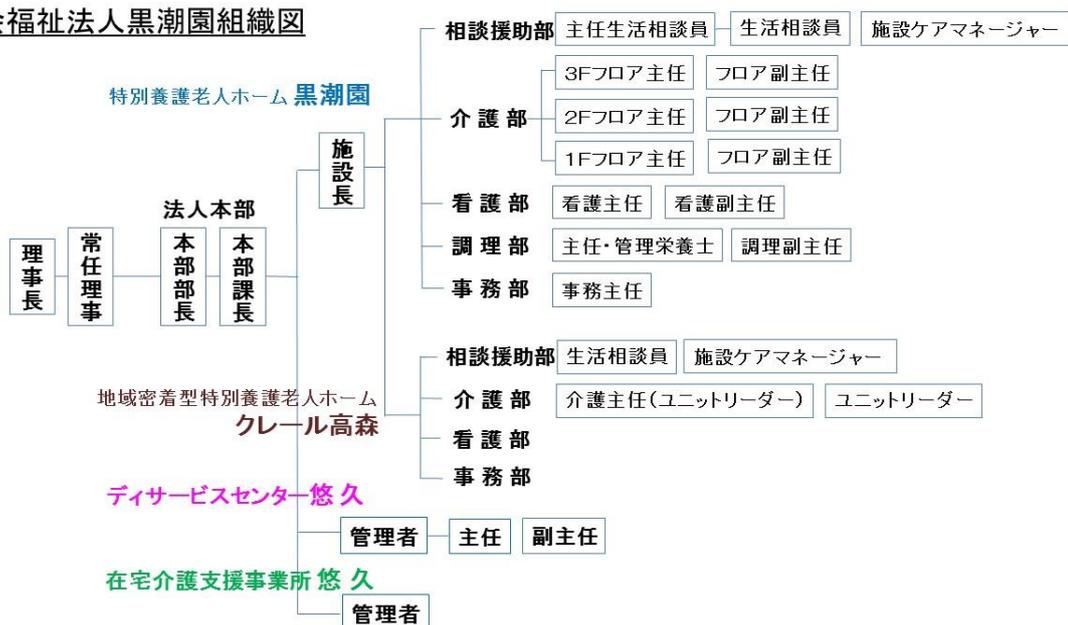
	中期財務計画（大規模修繕ほか）
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アパートの建設 (地域医療介護総合確保基金の活用) ・黒潮園外壁塗装工事 ・黒潮園浄化槽工事
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス悠久 全面リフォーム工事 ・ニュークックチル導入
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員棟（ロッカー・休憩ラウンジ）の建設 ・駐車場整備工事
将来計画	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮園C棟屋上テラス化計画 ・黒潮園1フロア2ユニット化計画 ・地下倉庫リフォーム工事

3. 地域貢献に向けた取り組み

- ・ 県立新翔高校『初任者研修』講師派遣
- ・ 新宮市在宅医療・介護連携推進会議に施設・デイサービスともに参加し、多職種、他事業所連携による地域包括ケアの推進に取り組む
- ・ 新宮市高齢者緊急一時保護事業への協力
- ・ 空きベッドの活用により、急な利用要望に対するショートステイの受け入れ対応
(平成27年度介護報酬改定 緊急時における基準緩和と緊急短期入所受入加算を活用)
- ・ 制度の狭間にある社会福祉・生活課題解決への協働プロジェクト（県社協）への参画

IV. 組織図・人員配置

社会福祉法人黒潮園組織図



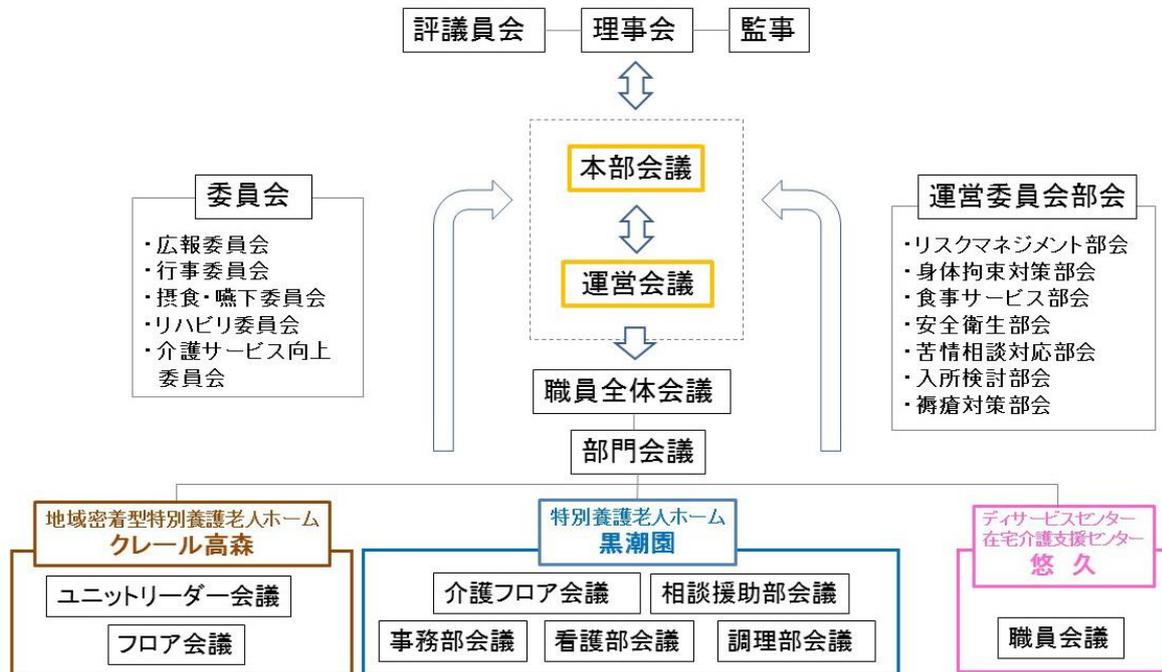
職員数

	法人本部	黒潮園	クレール 高森	デイサービス 悠久	居宅介護 支援	合計
施設長		1	兼務	兼務	兼務	1
部長	1					1
課長	1					1
事務員		4	1	1		6
生活相談員		1	1	兼務		2
介護支援専門員		1	1		1	3
看護職		4 (1)	1	1 (2)		6 (3)
介護職		53 (1)	22 (9)	17 (3)		92 (13)
その他		(8)	(3)	(2)		(13)
管理栄養士		2				2
歯科衛生士		1	兼務			1
調理員		5 (4)				5 (4)
医師		嘱託 (1)	兼務			嘱託 (1)
合計	2	72 (15)	26 (12)	19 (7)	1	120 (34) 計154名

※ () は嘱託 及び パートタイマー

V. 会議・委員会

組織全体を見通した機能的な会議・委員会編成を行い、法人運営を効率的に進めるものとする。



会議	目的・内容	責任者	開催頻度・時期
理事会 評議員会	・法人の運営及び施設経営に関する重要事項を審議決定する最高議決機関	理事長	必要に応じて開催
本部会議	・3事業所の財務管理、人事管理、サービス管理に係る課題を協議し、円滑な法人運営を図る	本部部長	第3金曜日 14:00～
運営会議	・施設運営の日常的・短期的な決済・判断を合議制で行い、円滑かつ適正な組織運営を図る	施設長	第4月曜日 18:15～
職員全体会議	・法人の事業計画・事業報告を行う他、全職員に周知すべき事項があれば開催	施設長	原則年2回 (上・下半期)
部門会議	・フロア運営・部署運営についての協議 ・運営会議の審議内容・結果の報告、又これに対する協議を行う	主任 管理者	原則月1回 第1週目
ケアカンファレンス	・ケアプランの内容について検討を行う ・多職種によりご入所者のケア方針を検討する	施設ケアマネージャー	第2月曜日 14:00～

○本部会議

<目的>

法人本部が中心となり、3事業所におけるサービス管理、財務管理、人事管理に係る課題を総合的に協議し、法人全体の適正運営を図る。

<運営方針>

- (1) 理事長・本部部長・本部課長が、事務主任・介護主任・生活相談員・デイ管理者等の各事業所代表を招集し法人運営の課題の抽出・検討を行う。
- (2) 円滑で健全な法人経営のため、財務分析の実施と予算管理に取り組む。
- (3) 法人運営、サービスの質向上、人材育成に関する方針や規程、ルール作りを行う。
- (4) 各部門会議からの提案を協議し、決定事項を運営会議に落とし周知する。
- (5) 原則、月1回（第3金曜日）の運営会議前に開催する。

○運営委員会（運営会議）

<目的>

現場各部門や法人全般に関わる課題を全体で把握し、法人運営方針の決定を統一されたものとし、円滑かつ適正な組織運営を行う中心機関として設置。

<運営方針>

- (1) 各部署主任・副主任を招集し、月1回（第4火曜日）に運営会議を実施し、各部署間の連携を図る。
- (2) 本部会議の決定事項の伝達と現場への周知を行う。
- (3) 各委員会、部門会議からの提案を協議し決定事項を周知する。
- (4) 部会を設け、各部署役職者（主任・副主任級）を招集し、各分野における施設運営方針の協議・連絡を行う。

部 会 名	担当	活 動 内 容
リスクマネジメント 部会	本部課長	・安全かつ適切で質の高いケアを提供する体制の整備 ・事故報告書、インシデント報告書の集計と対策検討
身体拘束防止部会	生活相談員	・身体拘束のない生活環境の提供に向けた体制整備 ・身体拘束に相当する事例の解除に向けた検討
感染症対策部会	看護副主任	・感染症を予防する体制の整備と職員教育 ・感染症発生時の迅速な対応と拡大防止策の策定
安全・衛生部会	衛生管理者	・施設設備の点検や職員の労働状況の把握・健康管理を行い、 安全かつ快適に働ける環境づくりに取り組む
入所検討部会 (入所判定委員会)	生活相談員	・入所申し込み者の情報整理 ・入所待機者の管理と入所者の検討
食事サービス部会	管理栄養士 調理副主任	・行事食の企画から、ご利用者の嗜好・アレルギー対応など食 事サービスに関する検討を多職種連携にて行う。
褥瘡対策部会	看護副主任	・褥瘡の予防と改善に向けたチームケアに取り組む ・定期的な入居者の状況をアセスメントする

苦情相談対応部会	本部部長	・ご利用者やご家族の苦情を受付ける体制を整え、権利を擁護し適切なサービスが利用できるよう支援する。
----------	------	---

○委員会活動（現場処遇に関するもの）

<目的>

黒潮園フロア制（グループケア）とサテライト型特養クレール高森でのユニットケアにおいて、各部門間で不均衡となりがちな利用者様の生活やケアに対する取り組みを、委員会を通じ情報共有を図り、チームケアを実現するために位置づける。

<運営方針>

- (1) ケアの専門性の追求と、ご利用者の生活の質の向上を図る。
- (2) 各フロア、職種間の情報共有と連携体制によるチームケアの実践を目的とする。
- (3) 問題点や実行計画等の協議を委員会で行い、現場処遇に関する内容・取り組みを施設全体の方針として進める調整機関とする。
- (4) 詳細の検討と実行は各フロア・部署にて行い、進捗状況等を委員会で報告する。
- (5) 各部署役職者（主任・副主任）もしくは選任者が責任者となり運営を行う。

委員会	活動内容	開催頻度
介護サービス向上委員会	・自立支援介護と個別ケアの取り組み推進 ・個別排泄ケアの問題、認知症事例討 ・介護力向上講習会（WEB）の取り組み課題の検討	月1回（第4火曜日） 17：00～
摂食・嚥下委員会	・ご入居者の嚥下状態に応じた、安全な食事形態と食事介助法の検討 ・言語聴覚士による指導 ・口腔ケアの充実と経口維持加算の算定	月2回（ST訪園時） 14：00～14：30
リハビリ委員会	・自立支援のリハビリ介助への取り組みの推進 ・現在のADLレベルの把握とこれに応じた介護プランの検討・個別リハビリ対象者の検討	月1回（第4火曜日） 18：00～
行事委員会	・施設全体行事の企画、運営	月1回（第2水曜日） 18：00～
広報委員会	・広報誌『黒潮園だより』年2回の編集・発行 ・法人ホームページの企画・更新	月1回（第4金曜日） 他広報誌発行時 18：00～

令和5年度委員会メンバー表

委員会	開催頻度	委 員
介護サービス 向上委員会	第4火曜日 介護力向上講習 会開催日	3階フロア： 楠本 角口 地蔵本 2階フロア： 山口 奥田 菊地 1階フロア： 道端 西地 山野 クレール： 北郡 岩佐 三栖 看護部： 原田 若井 調理部： 大橋 相談部： 清水 和中
摂食・嚥下委員会	月2回	3階フロア： 宇恵 山口、中地 2階フロア： 小西 小金 森 1階フロア： 北 瀧谷 看護部： 西 調理部： 長尾 大橋 梅村
リハビリ委員会	第2火曜日	3階フロア： 長田 富田 平見 2階フロア： 深瀬 松井 亀井克己 山本 1階フロア： 斎藤 宇城 城庵 小松 看護部： 小嶋 相談部： 平根
行事委員会	第2水曜日	3階フロア： 西美佐 石田、泉 2階フロア： 森沢 山田 佐藤 園山 1階フロア： 原 桑原 道前 看護部： 海部 事務部： 端地
広報委員会	第4金曜日	3階フロア： 宇恵、石田、山口、中地 2階フロア： 亀井麻紀 1階フロア： 辻 福池 滝谷 クレール： 新谷みゆき 看護部： 三浦 事務部： 上地 江坂 デイ悠久：(林 片山 倉本)
排泄委員会		3階フロア： 西美佐 中野 地蔵本 2階フロア： 深瀬 亀井麻紀 菊地 1階フロア： 道端 瀧谷 西地 原

VI. 研修計画 2023

目指す専門職（Specialist）において不可欠な自己研鑽とワーク・ライフバランスの両立を実現するため、参加型の研修を全体研修と WEB 配信コンテンツから構成する研修制度（OJT）を実施します。

	全体研修	WEB 配信研修	
		全職員（1～6 等級）	3 等級～6 等級
4 月	・新人研修 ・職員全体会議 「令和 5 度事業計画」	・接遇マナー研修 「接遇およびコミュニケーションの基本」	オンライン（Zoom）開催 ・介護リーダー（介護主任）の具体的な役割と責任 講師：齊藤 浩二
5 月			
6 月	・感染症対策① 「食中毒予防と蔓延防止」		
7 月	・大塚製薬 「脱水症と熱中症対策」	・認知症ケア 認知症者とのコミュニケーション 「ユマニチュード」	・チームワークの基礎 講師：神 智淳
8 月	・人権研修①		
9 月	・太陽化学 「腸内環境の改善と水溶性食物繊維の効果」		
10 月	・職員全体会議 「上半期事業報告」	・身体拘束と高齢者虐待 「拘束や虐待が起こるメカニズム」 ・アンガーマネジメント研修 「怒りのコントロール」	・コーチング研修 「人材育成の知識と技術」 講師：田島 利子
11 月	・感染症対策② 「インフルエンザ・ノロウイルス対策」		
12 月	・感染症対策セミナー 「ノロウイルス対策」		
1 月	・人権研修②	・ケアをすることの根拠 講師：三好春樹 「介護の専門性を問い続けて」 ～もっとシンプルに～ 「介護の専門性を守るために」 ～シンプルだけど難しい～	
2 月	・リスクマネジメント研修 「窒息・誤嚥急変対応」		
3 月	・事例発表会		

※毎月第 4 (火) 17:00～20:00 介護力向上講習会 WEB 研修への参加

VII. 黒潮園・クレール高森行事計画

昨年度はコロナウイルス感染拡大により外出企画は中止としましたが、今年度はケア方針にある『ご入居者様の豊かな暮らしの創出』の実行に向け、当法人の定める感染拡大指標 LEVEL に準ずる判断のもと、積極的に実施する方針とします。

	全体行事
4月	・花見
5月	・春の外出企画 太地くじら博物館・那智の滝・串本橋杭岩ほか ・ホエールウォッチング
6月	・あじさい花見ドライブ
7月	<開園記念祝賀会> ・夏祭り
8月	・花火企画
9月	・敬老会・カラオケ大会 ・三輪崎神楽奉納（鯨踊り）
10月	・運動会
11月	・黒潮横丁（出店企画） ・屋外食事会（サンマ炭火焼）
12月	・クリスマス会 ・忘年会・餅つき大会
1月	<新年会> ・お正月イベント（獅子舞・カルタ大会） ・初詣
2月	・節分行事
3月	・ひな祭り

○お誕生会 毎月1回 ○音楽療法 週2回

VIII. 黒潮園事業計画

介護部全体事業計画

<基本方針>

1. Smart・Stylish・Specialist な KAIGO を実現します
2. チーム力が高く働きやすい部署を目指します
3. アフターコロナにおける『豊かな暮らしの実現』への取り組みを創意工夫します

<重点実施項目>

(1) オペレーションシートの作成とマニュアルの整備による Smart な KAIGO

- ・事前に10分単位で日勤3名、4名、5名時のシフトごとの業務実施状況を調査し勤務ごとの業務状況・ケアの状況を客観的に把握したオペレーションシートを作成します。
- ・それぞれの業務において、ムリ・ムラ・ムダほか業務課題点を抽出し業務ラインを整理することで、誰がどの時間に何をすべきか明確にし、スムーズかつ効率的に仕事ができる体制づくりを行います。
- ・オペレーションシートを活用した業務効率化により生み出された時間を活用し、実施が来ていないレクリエーションの実施ほか、車椅子や施設の美化活動に取り組みます。
- ・業務に慣れない新人職員でも業務を把握し個別ケアが実践できるツールとして役立てます。

(2) 最新のテクノロジーの活用による Stylish な KAIGO

- ・見守りセンサー『眠りスキャン』の全室導入により、夜勤の労務負担の軽減とご利用者の安眠の確保に取り組みます。
- ・各フロアに導入した移乗サポートロボット『Hug』の有効活用を進め、利用者様の安心安全と職員の腰痛予防に取り組みます。

(3) ショート利用者情報アプリ『Kui』の活用

- ・ショート利用者様の情報をアプリにまとめ、注意事項の確認がどこでも円滑に確認する事が出来るように取り組みます。
- ・入所前日や入浴前の申し送りで活用し業務の効率化を進めます。

(4) 充実したレクリエーション

- ・コロナウイルス感染症5類移行に伴い、黒潮園だからこそ出来る、黒潮横丁や釣り企画、おやつ作りなど様々な企画を行事委員会中心に企画し、日々の暮らしの中で生活を豊かに感じて頂けるよう支援していきます。

黒潮園

介護部1Fフロア事業計画

<基本方針>

- ・ 楽しく 【楽しい企画作りと実施。職員間で話し合える時間づくり】
- ・ 美しく 【利用者様の整容 整理整頓 フロアの美化 身なりを整える】

<実行計画>

(1) チーム力の高い部署を目指す

- ・ 委員会・居室担当等における個々の役割を明確にし、責任感を持って取り組む。
- ・ 居室担当会議を月1回開催し、介護現場での課題や要望を主体的に話し合えるチーム作りを進める。
- ・ 居室担当者それぞれが担当するご利用者の整容やベッド廻りの美化を担う。
- ・ 9月、10月にフロア独自の感染症対策勉強会を実施し意識向上を図る。

(2) 余暇活動の充実

- ・ 外出支援、ドライブなど行事委員会を中心に利用者様の希望に合わせた外出支援の実施。
- ・ 利用者様のニーズに合った調理レクリエーションの実施。

黒潮園

介護部2Fフロア事業計画

<基本方針>

- ・ 元気で安心して暮らせるチームケアの提供
- ・ 入居者様と職員が生きがいの持てる環境づくり

<実行計画>

(1) 専門性の高いチームケアの実践

- ・ 居担会議、フロア一会議での決定事項の共有を強化しケアの実践力を高める。
- ・ 歩行ケアほかADL維持改善に向けた自立支援介護の継続的な実践。
- ・ 移乗サポートロボット『Hug』の適応を拡大しトイレの自立に取り組む。
- ・ 感染症対策のスキル向上と統一した実践ができるよう、流行期に応じて感染症対策の動画閲覧を行い、感染拡大を最大限に防ぐよう努める。

(2) 余暇活動の充実

- ・ 中庭で過ごす時間の提供や外出支援、ドライブの実施。

- ・入居者様のニーズに合った調理レクリエーションの実施。
- ・心身の活動性アップの為に体操などレクリエーションの充実。
- ・口腔機能維持、口腔フレイル予防を目的とした食事前の歌唱に取り組む。

黒潮園

介護部3Fフロア事業計画

<基本方針>

- ・ご利用者様に安心と喜びを実感して頂く取り組みを実施します
- ・介護のプロとしての自覚を持ち日々の業務に努めます
- ・仕事を楽しく出来るよう仕組みを作っていきます

<実行計画>

(1) 利用者様満足の向上

- ・アフターコロナにより積極的にレクリエーションを企画、実施し、利用者様に喜びと感動を感じて頂けるよう取り組みます。
- ・毎月1回は食事作りや日々の暮らしに喜びを感じて頂けるよう取り組みます。今年のご利用者様の希望があればバーベキューなどにも取り組んでいきたいです。
- ・整理整頓を徹底的に行い、壁の傷など修復出来る事は行っていく。イメージは「シンプルイズベスト」目に入る場所には物を置かない。すべて棚に整理する。ベッド周りは常に綺麗な状態にする。

(2) フロア目標、個人目標を明確にする

- ・年間を通じてフロアの目標を明確にし、チームで取り組みます。
- ・フロア内での役割を個別に決め、個々の目標に掲げてもらい、活躍の場を広げる取り組みをします。

(3) 仕事が楽しいと感じられる職場にする

- ・個々の職員がチームワークの向上に向けた課題について考え目標を立て実行する。
- ・楽しいと感じられる雰囲気作りをするためにどうすれば良いかみんなで考え目標を立て実行する。

クレール高森事業計画

<基本方針>

- ・根拠を持って実践する個別ケア

- (1) 新人教育指導マニュアルに基づくチームケアへの取り組み
- (2) トヨタ式改善方法を含めた業務改善への取り組み
- (3) 職員版 24 時間シートの活用
- (4) 個別ケア実践への取り組み
- (5) 各委員会活動の取り組みと実践

<実行計画>

- (1) 新人教育指導マニュアルに基づくチームケアへの取り組み

- ・職務評価表と e-ラーニング動画、食事、排泄、認知症ケア等、各ケアと業務のマニュアルを連動させて作成した新人指導マニュアルを用い、業務内研修を実施します。
- ・教える側の職員も、教わる側の職員も安心して業務やケアが行える環境をつくり、チーム全体で指導マニュアルの共有を行う事で、根拠あるケアの実践につなげます。

- (2) トヨタ式改善方法を含めた業務改善への取り組み

- ・業務改善課題をチームで共有したうえで、ムリ、ムダ、ムラの改善を実施し、業務内容の効率化と標準化を目指します。
- ・改善による時間短縮により職員が働きやすい環境を目指し、個別ケアの充実につなげます。

- (3) 職員版 24 時間シートの活用

- ・業務ケア時間を計測し、時間軸にそって各勤務帯が円滑に支援を行う事を目的とした職員版 24 時間シートを作成します。
- ・日中に必要な勤務帯（早番、日勤、遅番）の基本職員配置で業務ケアの流れを時間軸に沿って職員版 24 時間シートに組みこみ、オペレーションシートとして作成します。
- ・職員版 24 時間シートの基本配置数以上の人員配置となった際に遂行可能な業務、カンファ、レク、24 時間シート変更、施設内勉強会、委員会等を実施していきます。

- (4) 個別ケア実践への取り組み

- ・ユニットケア施設として、ユニットケア研修に参加し、ユニットケアの理念を学習し、個別ケアの実践へつなげます。
- ・24 時間シートの更新、変更を居室担当者が責任をもって行える取り組みを行います。
- ・尊厳あるケア、専門性を磨く為に外部研修に参加しケアの充実を目指します。
- ・多職種連携のカンファレンスを実施し、個別ケアの充実を目指します。

(5) 各委員会の充実を目指す

- ・各委員会活動は業務内で、計画的（5W1H）に実施していく。
- ・委員会で年間活動計画を作成し活動する。
- ・委員会所属メンバーは活動の目的を理解し、役割を担い活動することでチーム力に繋がります。

委員会	担当職員	活動計画
行事委員会	委員長：東口 和中 向井 岩佐 池永 宮上	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様に季節の行事の実施を継続。 ・個々の入居者様や利用者様の声（食べたい物、やりたい事、）を大切にした支援の企画。 ・入居者様の思いを大切にしたユニットごとの企画。
広報委員会	委員長：西 新谷 松實 三栖 竹本 倉本 宮上 (黒潮園広報委員) 新谷	<ul style="list-style-type: none"> ・月1の行事や、レクリエーション活動の写真を残し、クレール日記への掲載やご家族様への配布を行い、地域やご家族様にクレールでの取り組みをお伝えしていく。 ・各入居者様の写真を各ユニットの居室担当で管理保管していく。
リハビリ委員会	委員長：鳥居 小西 加茂 下地 宮上	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジショニング、シーティングへの取り組み、ラウンドを通して基本的な考え方をチームで共有しながら褥瘡予防、姿勢保持への取り組みを行う。
介護向上委員会	委員長：木和田 中村 上西 福田 新 上安 宮上 (介護サービス向上委員会) 委員長：北郡 三栖 岩佐 若井看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアの視点から、テーナの理念、実技を実施していく。 ・自立支援介護の理論を学び、実践につなげる。
5S活動委員会	委員長：宮上 東口 上安 向井 福田 北郡 小西 西	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ式改善方法に基づいて、間接業務のムリ、ムダ、ムラを省く事で時間短縮と、業務の効率、標準化を目指して、個別ケアの充実につなげる。
摂食嚥下委員会	東口 鳥居 木和田 宮上	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能の維持ほか摂食嚥下への取り組みを行う。 ・経口維持加算ほか加算取得に必要なカンファレンスへの参加。

<各ユニット事業計画>

【1階北ユニット】

職員版 24 時間シートを作成し、各勤務形態を時間軸にそって業務を振り分ける事で、業務を円滑に遂行し、質の高いケアの充実を目指す。

【1階南ユニット】

職員版 24 時間シートにて、ムリ、ムダ、ムラを軽減し、利用者様個々のニーズにあったより良い統一したケアを行う事ができるユニットを目指していく。

【2階北ユニット】

ホスピタリティについて勉強会を行い、ホスピタリティを意識して支援にあたる。
言動チェック表を使用して自身の言動を評価する。

【2階南ユニット】

月に1度、担当者を決め入居者様と関わる企画を実施する事で、入居者様の暮らしの充実を目指す。

相談援助部事業計画

<基本方針>

キーワード：「共創する」

- ・ご利用者様、ご家族様、職員の皆様と対話をしながら、価値を「共」に「創」りあげていく
- ・価値とは、誠実、謙虚、尊敬を大切にすること
- ・介護保険事業者間の連携・情報共有を行う

<重点実施項目>

法人運営方針を理解し、相談援助部としての責務と質の向上を図る。

(1) 目標稼働率 100%を目指す（クレール 99%）

- ・社会資源として地域に活用され、必要な方に利用され続ける施設を目指し、入退所を円滑に調整する。
- ・ご入居者が入院した場合、医療機関の医療介護連携室との情報交換や退院時カンファレンスへの参加等による退院調整など、医療・介護連携に努める。
- ・入院時のショート空床利用、迅速な新規入所受け入れにより、効率的な空床管理を行う。

(2) 身体拘束セミナーの実施

- ・身体的拘束等の適正化のための研修を定期的実施する。

(3) フロアー担当制によるチームケア体制の構築とソーシャルワークの充実。

- ・黒潮園では相談員・ケアマネのフロアー担当制を導入し、各担当フロアー会議に参加し、ご利用者の状況把握や多職種間の連携、ご家族への連絡など、現場職員とより連携が取れる体制とする。
- ・介護現場と連携し、ご家族との信頼関係を深める。(ご家族・介護職員と一緒に外出支援の企画を行う。)
- ・ソーシャルワークの専門職としての知識向上を図る。
(身体拘束セミナー、担当制による介護福祉士受験対策の勉強会、新宮市役所から生活保護の外部研修会)
- ・ご入居者及びご家族の意向に添った終末期ケアへの取り組みとして、看取り期のご家族へ向けた支援と精神的サポートを行うため「看取りガイドライン」を活用しながら、主治医・看護部・多職種と連携し、ご家族への意向確認と情報提供を行い、看取り介護に取り組む。

(4) ご入居者・ご家族の意向や嗜好を暮らしに反映させたケアプランの作成

【黒潮園】

- ・生活相談員と介護支援専門員が、各担当フロアー入居者のケアプランを作成する。
- ・フロアー職員の居室担当制により、モニタリング評価表の内容を反映し、定期的にケアカンファレンスを開催。ご入居者の状態や暮らしの希望などの情報を収集し、ケアプラン作成に活かしていく。

【クレール高森】

- ・入居時に、「ほのぼの課題分析表」を活用したアセスメント及び暮らしの意向を多職種で共有していく。これまでに入居された方についても、自立支援型短期目標から自律支援型短期目標（私らしく暮らしたい、私らしく元気に過ごしたい）に移行して「その人らしさ」を少しでも実現する。
- ・個別のカンファレンス開催を再構築する。現場、多職種共同にその方の暮らしを支援していく意識を再認識し、多職種連携でケアプラン・24Hシートの作成に活かしていく。

(5) 地域への情報発信と連携

- ・急なショート利用希望にお応えできるよう、緊急ショートの受け入れに取り組み、地域事業所との連携を深める。
- ・新宮市介護保険事業者連絡協議会の施設部会として、介護保険事業者間の連携・情報共有を行う。

看護部事業計画

<基本方針>

- ・ご入居者の健康状態の把握と健康保持に努める

<重点実施項目>

(1) 健康状態の把握と健康保持への援助

- ・ご入所者の情報を把握・異常の早期発見が出来るように心がける。異常があれば適切に対処し、必要に応じて受診につなげる。
- ・ご入居者の状態に変化を認めた際は、医師へ報告し、指示を受ける。介護職員には日常生活の制限など必要な指示を伝える（入浴・安静度・食事）。
- ・毎日の巡回の中で、ご入居者の声に耳を傾け、身体・精神・心理的状态を把握しながら必要に応じて診察、または他職種への報告・周知を図り、統一した視点で連携を図る。
- ・各人がアセスメントスキルの向上に努める。

(2) 新規入居者の疾病と健康状態の把握

- ・入居時の診療情報書・看護サマリー・リハビリ経過報告書・感染症の有無等を確認、また、身体・精神・心理的状态や皮膚状態を把握する。
- ・入居後、経過を追いながら、バイタル状況、認知症の有無と程度、ADLの状態・排泄状況・食事状況・精神状態等を十分に把握し、個々に合わせた健康面の援助を行う。

(3) 入居者の定期健康診断の実施

- ・ご入居者の健康管理として、年に1度は健康診断を行う。
- ・血液検査については、経過に応じて随時実施する。

(4) 他職種連携とのチームケアの実践

※栄養状態の把握

- ・管理栄養士・医師・介護職員と連携を図り、個々の栄養状態の改善、また、経口維持や改善に努める。

※自然排便への取り組み

- ・他職種との連携で、個々の排便状況、食事、水分等の観察・記録のアセスメントを行い、自然排便への援助を行う。

※褥瘡ゼロへの取り組み

- ・褥瘡対策委員会を実施し、褥瘡防止、褥瘡治療を作らないケアに取り組む。

※フットケアへの取り組み

- ・自立歩行への支援を目的にフットケアを行う。

※看取りケアへの取り組み

- ・尊厳ある最期を迎えることが出来るようご本人及びご家族へのケアを行う。

- ・看取りのカンファレンスの実施。
- ※服薬について
- ・嘱託医に内服薬の見直しを依頼し整理する。
- ・服薬チェック表を作成し、内服薬の管理を徹底する。

(5) 病院受診、ご家族への説明

- ・相談援助部との連携を行い、病院受診、およびご家族への報告等を円滑に行う。

(6) 感染症対策

- ・地域での感染症の流行状態の把握に努める。
- ・通常の感染症の勉強会を開催、必要時には感染症の対策を行う。

(7) クレールでの看護業務の立案

- ・クレールでの業務及び内服薬管理の見直しを図り、スムーズな業務が実践できるように努める。
- ・配薬ボックス『配やっくん』を活用し誤薬防止に取り組む。

(8) 書類・カルテの整理見直しと記録システムの活用

- ・記録システム「ほのぼのNEXT」を活用し、内服・創傷・褥瘡のケア記録を行う。
- ・カルテを整理し、必要な情報をまとめたファイルを作成する。
- ・看護申し送りのペーパーレス化の実施。

(9) 看護部の意識改革

- ・フロア制を導入する事により、細かな観察及びケアの実践。
- ・フロア会議に参加する事により、介護職員との情報の共有を図る。
- ・言葉遣い及び業務態度の見直し、他職種と連携しチームワークを継続し実践する。

調理部事業計画

<基本方針>

- ・安全第一 安心安全な食事の提供と食事サービスを提供します。
- ・個々のニーズに配慮した食事の提供と栄養ケアマネジメントの充実を目指します。
- ・生活に欠かすことのできない食事を安定的に安全に提供できる部署運営を目指します。

<実行計画>

(1) 安全な食事の提供

- ・食品の取り扱い、職員の体調管理など衛生管理を徹底・実施します。
- ・食中毒や感染症発生防止の対策を適切に実施します。

(2) 栄養ケアと摂食嚥下、口腔ケアの連携により最後まで口から食べられるケアを実践します。

- ・管理栄養士、歯科衛生士協同でマネジメントを実施します。
- ・管理栄養士増員により、栄養マネジメント強化加算に取り組みます。
- ・咀嚼嚥下機能低下者に対する食形態の調理、加工を調理部が実施します。
- ・カンファレンス、摂食嚥下委員会などを通じて、情報の発信・収集を行い、適切な対策を講じます。

(3) 調理部の安定的な運営

- ・安心安全な職場作りのため、必要人員の確保、人材育成の推進を図り、実状にあわせた業務の改善を実施し、安心して働ける職場風土を目指します。
- ・法人の長期的なビジョンを共有し、下膳業務の再開による他部署連携と、黒潮園・悠久・クレールの食事サービスの今後を見据えた再加熱方式調理システムなどの検討を継続します。

<重点実施項目>

(1) 口腔と栄養の一体的なケアの継続とその取り組みの発信

- ・一連のケアを継続して行いつつ、取り組みをまとめ人材育成や情報発信に活用する。
- ・近畿老人福祉施設研究大会にて、当法人における食事ケアについて発表する。

(2) コロナ禍に自粛したイベント食の再開

年間行事予定

4月	お花見弁当	10月	秋の行楽企画
5月	喫茶企画	11月	運動会企画
6月	あじさい弁当	12月	忘年会企画 Xmas企画 餅つき企画
7月	開園記念日	1月正月	お正月企画
8月	夏祭り	2月	カフェ
9月	防災の日を絡めた炊き出し訓練	3月	ひなまつり企画

IX. デイサービスセンター悠久事業計画

<基本方針>

- ・ 住み慣れた家でその人らしい暮らしがいつまでも継続できることを実現する
- ・ 余暇活動の充実で、笑顔あふれる刺激的なデイサービスを目指します

<実行計画>

(1) その人らしい在宅生活の維持の実現

- ・ 中重度高齢者や認知症高齢者の在宅支援・ご家族支援に取り組む。
- ・ 延長時間対応や夕食の提供など、あらゆるニーズにお応えするサービスの提供に務める。
- ・ 日常生活動作の機能訓練に取り組み、身体機能向上で在宅生活の継続に努める。
- ・ 認知症の進行の緩和に取り組む、住み慣れた家でその人の暮らしの継続に努める。
- ・ ご家族様や介護支援専門員、他職種他事業とも連携した質の高いサービス提供に努める。

(2) より充実した余暇活動やサービスの提供の実践

- ・ 機能訓練、レクリエーションの知識及び技能や利用者様にもたらず効果等を理解し、一人一人に合わせた機能訓練、レクリエーションの提供を行い、余暇支援の充実につなげる。
- ・ リハビリメニューを充実させ、バランス感覚の維持や血流の正常化、下半身関節の強化などの機能回復で ADL の維持向上や転倒しない体作りにつなげる。
- ・ 季節を感じるドライブや行事などに積極的に取り組む。

(3) 充実した人材育成や働きやすい環境作り

- ・ ケアマニュアルと業務マニュアルの作成と新人研修プログラムを構築し、チャレンジ制度におけるキャリアパスを作成する。
- ・ 悠久独自の勉強会を行い介護技術の研鑽に努め、ご利用者様の尊厳を大切にするケアを行う。
- ・ 職員間のコミュニケーションと休みの取りやすい働きやすい職場作りに努める。
- ・ 悠久の様子や行事、改修工事に向けての計画をホームページ「悠久通信」に掲載して地域に発信する。

(4) 10年20年先を考えたデイ作りに向けて再スタートする

- ・ IT を使った荷物管理健康管理のできるデイサービスの情報収集しアイデアを生み出す。
- ・ 機能訓練に特化したプログラムと、機能訓練型、レスパイト型の業務の組み方を構築する。
- ・ 保険外サービスの導入など、他にない新たなデイサービスの形を創造する。
- ・ 利用者様ご家族に素早く連絡伝達ができるよう LINE の活用をすすめる。

< 悠久重点実施項目 >

1. 五類感染症に移行、行事のあり方を考え企画していく。

何がどう変わる？

	現在(2類相当)	5類移行で…
行動制限など	できる	できない
医療機関	発熱外来など一部	幅広い医療機関
医療費	全額公費負担	当面は公費負担
感染者報告	全数	定点
マスク着用	屋内では推奨	個人の判断 (見直し時期は検討)
ワクチン	無料	必要な接種 自己負担なし
大声伴イベント (直ちに運用開始)	定員の50%	対策行えば100%

感染症対策について

行事のプログラム

人数調整の工夫



行事やドライブに積極的に取り組む

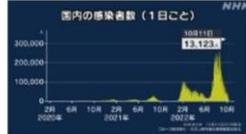
利用者様と悠久の楽しいおもいでをたくさん作ろう

2. 感染症の発症状況や災害時の利用について連絡しやすくなる。

大型台風接近



COVID-19発症



感染者急拡大

感染が心配だなあ？

デイ利用できるのかしら？



どうなるんだろう？



一斉送信でお知らせ

多数の利用者様ご家族にLINEを活用して連絡することができる。

大切な利用状況の連絡をタイムラグなく伝えたい

<悠久委員会活動>

(1) 目的

地域への情報発信や事業計画を円滑に遂行するため、悠久職員で構成する各委員会を設立する。

(2) 運営方針

1. 職員が各委員会に所属し、委員長を決め運営する。
2. 委員会活動報告を月1回行う。
3. 行事、広報委員会は法人全体委員会の招集時には悠久の代表として参加する。

委員会	活動内容	担当職員
技術向上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自施設の介護技術や接遇力の向上への取り組み ・ 利用様に合った介助方法や自助具等の模索 	溝奥 畑中 石原
行事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事企画、行事記録の作成 ・ イベント用物品の管理 ・ 法人委員会への参加 	由谷 福島 森浦 横浜
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや広報誌の更新や充実 ・ 写真の整理や配布 ・ 法人委員会への参加 	林 片山 倉本
美化衛生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全かつ快適な職場環境作りに取り組む ・ 施設内の清掃や整理整頓の点検 	井上 瓜田
車両管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の安全点検や管理 ・ 車イス等の修理改善 	丸谷 倉本
物品管理委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備品や在庫の管理 ・ 低コストへの品質改善等 	横山 野中
オペレーション シート作成委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務マニュアル介護マニュアルの作成更新 ・ 業務のムダ改善等 	倉本 全職員

デイサービスセンター悠久行事計画

<新しい行事の企画を行い、年間行事のさらなる内容の充実に取り組む>

< 毎月の行事企画 >

- 押し花教室 月1回
- 音楽療法 第1・第3金曜日
- おやつ作り 毎月企画

※コロナウイルス感染者数の状況を見ながら取り決め（場合によりオンラインで行う）

悠久年間行事予定			
4月	※お花見ドライブ ※つつじドライブ 工作教室	10月	悠久スポーツ大会 ハッピーハロウィン ※屋外昼食会
5月	※新緑ドライブ ※屋外昼食会	11月	※秋のドライブ 介護の日イベント
6月	※紫陽花ドライブ	12月	忘年会 メリークリスマス 餅つき大会
7月	七夕まつり 工作教室	1月	新年会・マグロ・獅子舞 初詣ドライブ 工作教室
8月	工作教室 悠久盆踊り	2月	節分会 工作教室
9月	敬老会 工作教室	3月	ひな祭り 工作教室 ※木蓮ドライブ

上記以外に慰問予定

XII. 在宅介護支援センター悠久事業計画

(居宅介護支援事業)

1. 基本方針

- (1) 介護支援専門員、介護福祉士という専門性を生かし対象者に対してより適切なアセスメントと援助を行っていく。
- (2) 各職員が同一の対象者に関する情報を常時共有するよう努力する。
- (3) 黒潮園、クレール高森、デイサービスセンター悠久の併設施設職員との情報交換、連携を強化する。
- (4) 行政を始めとする諸関係機関、団体等との一層有効な連携に努める。

2. 実行計画

- (1) 在宅介護に関する総合相談
- (2) 保険、医療サービスの情報提供とその積極的利用の為の啓発
- (3) 保険外サービスの申請代行、利用の連絡調整
- (4) 福祉用具の紹介、具体的使用方法の相談、助言
- (5) 住宅改修についての助言
- (6) 訪問等による在宅介護の方法の相談、助言
- (7) 在宅介護者の緊急的不在時の対応
- (8) 相談協力員との情報交換等連絡調整
- (9) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、身近な生活圏域ごとにサービスの拠点をつくり支援する
- (10) 働きやすい職場づくりの一貫として、職員からの介護相談を受け付け、その支援を行う
- (11) 悠久改修工事に向けて、ご本人様やご家族様の希望やニーズの助言を行い、新しい悠久の創造に協力し、在宅介護の相談がしやすい環境を作っていく。
- (12) 自立支援に向けたケアプランの作成に努める。